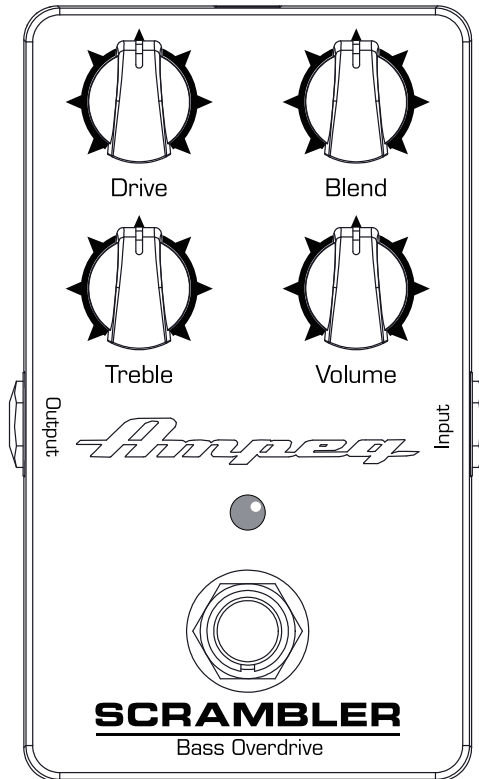


Ampeg

SCRAMBLER

Bass Overdrive



取扱説明書

目次

はじめに.....	2
特長.....	2
SCRAMBLER トップパネルの機能.....	3
SCRAMBLER リアパネル／ボトムパネルの機能.....	4
ボトムパネルの開け方.....	5
SCRAMBLER 推奨セッティング.....	7
SCRAMBLER ブロック図.....	8
SCRAMBLER 技術仕様.....	9

はじめに

このたびは Ampeg ベースオーバードライブ SCRAMBLER をお買い上げくださりまして、ありがとうございます。SCRAMBLER は、迫力があり、応答速度の速い本物の Ampeg サウンドを提供する製品です。浅めのオーバードライブから咆哮するようなディストーションまで、幅広いサウンドをお楽しみになれます。

高音成分の量を調節して原音とブレンドし、お好みに合わせた音色を作り出せます。本製品は、完全アナログながらお手頃な価格を実現しています。

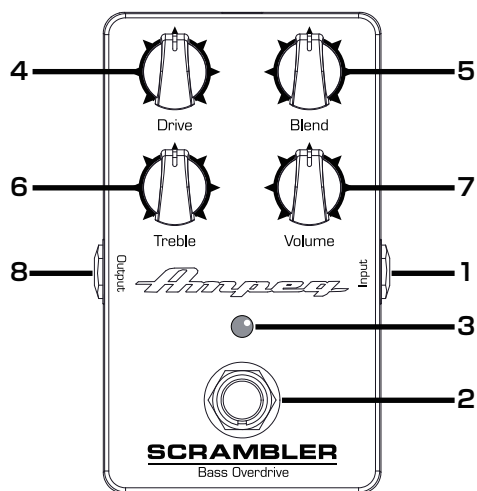
SCRAMBLER は他の Ampeg 製品と同様、ミュージシャンによって設計され、最高品質の部品のみを使って製造されており、この製品は、1 台 1 台、弊社が定める仕様を満たしているかテストされており、最高品質のペダルであると自負しております。

本製品の性能を最大限に引き出すために、お使いになる前にこの説明書をよくお読みください。お客様の音楽生活がより多いものになることをお祈りします。

特長

- 伝統的な Ampeg サウンドを提供するベースオーバードライブ
- DRIVE と BLEND (WET / DRY) を個別にコントロール
- TREBLE、VOLUME コントロール搭載
- ツールバイパス方式を採用したアナログ設計。卓越した SN 比を実現
- 耐久性に優れたオールメタルの筐体を採用
- 9V の AC アダプターまたは電池による駆動が可能 (別売品)

SCRAMBLER トップパネルの機能



1. INPUT (入力) 端子

楽器からの出力信号（アクティブ／パッシブの両タイプに対応）を接続する 1/4" 端子です。接続には、シールドされた楽器用ケーブルをご使用ください。

ノート：

ペダル内部に、ゲインを-15dB 減衰させるパッド機能のジャンプスイッチが搭載されています。ジャンパーの切り替え方法については、6ページをご参照ください。

ノート：

9V 電池の消耗や電池切れを防ぐため、ご使用にならないときは、この端子からケーブルを引き抜いてください。電池の交換方法については、5ページをご参照ください。

2. SCRAMBLER (スクランブラー) スイッチ

SCRAMBLER のオン／オフを切り替えるスイッチです。本製品はツールバイパス、つまりスイッチがオフのときに、一切の回路を通さずに入力から出力へと信号が送られる方式を採用しています。

3. ON/OFF (オン／オフ) LED

ペダルがオンのときに、この LED が点灯します。

4. DRIVE (ドライブ) コントロール

SCRAMBLER のオーバードライブ効果の深さを調節します。右に回すと効果が深くなり、左に回すと浅くなります。

5. BLEND (ブレンド) コントロール

SCRAMBLER を通過した信号をクリーンな原音にブレンドする量を調節します。

6. TREBLE (トレブル) コントロール

高音域のレベルを調節します。最大値のときに高音域が 17dB ブーストされ、同時に 4kHz が 14dB カットされます。中央の位置では高音域がフラットになります。

7. VOLUME (ボリューム) コントロール

最終的な出力レベルを調節するコントロールです。このコントロールの操作は慎重に行い、ケーブルの抜き

差しなど、何か新しいことを行うときは、コントロールを下げてから実行してください。中央の位置でユニティゲイン（増減なし）になります。

8. OUTPUT（出力）端子

通常は、外部のパワーアンプ、またはパワースピーカー（いずれも入力レベルを調節するボリュームコントロールを搭載したもの）の入力端子に接続する 1/4" 端子です。接続には、シールドされた楽器用ケーブルをご使用ください。

その他、この端子を外部のミキサー、レコーダー、オーディオインターフェイスなどの機器に接続することも可能です。この方法を使えば、メインミックスにベースを加えるとき、あるいはベースを録音するとき、わざわざスピーカーの前にマイクを立てる必要がなくなります。この端子からの信号レベルは、VOLUMEコントロールの操作に影響されます。

SCRAMBLERリアパネル／ボトムパネルの機能

9. POWER（電源）接続

市販の AC 電源アダプターを接続する端子です。

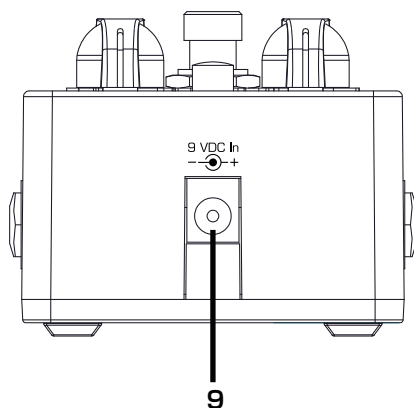


警告；

AC 電源アダプターを接続する前に、ご使用になる国の電源に対応した適切なアダプターであることをご確認ください。

ノート：

推奨する市販のパワーサプライの仕様は、9VDC 20mA 以上 センターマイナスです。

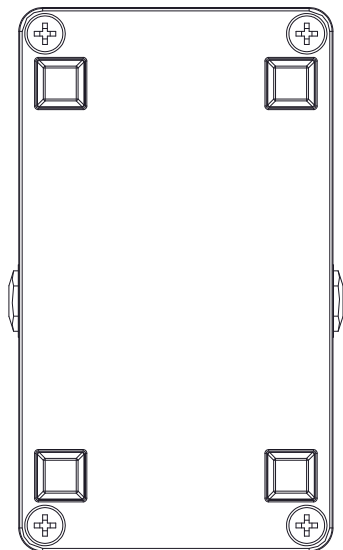


ボトムパネルの開け方

ペダル底面の内部に、ゲインを-15dB 減衰させるパッド機能のジャンパースイッチが搭載されています。9V 電池も、ペダル底面に収納します。

ボトムパネルの開け方は簡単です。まずペダルのトップパネルを下にして、柔らかく乾いた布の上にそっと置きます。

次に、4カ所のネジを左側に回して取り外します。取り外したネジは、パネルを閉じるときのために、安全な場所に保管しておいてください。



10.9V 電池

SCRAMBLER は、AC 電源アダプターの代わりに 9V 電池で駆動することも可能です。次の図からわかるように、9V 電池は 回路基板の縁にある電池ボックスにすっぽりと収まります。

ノート：

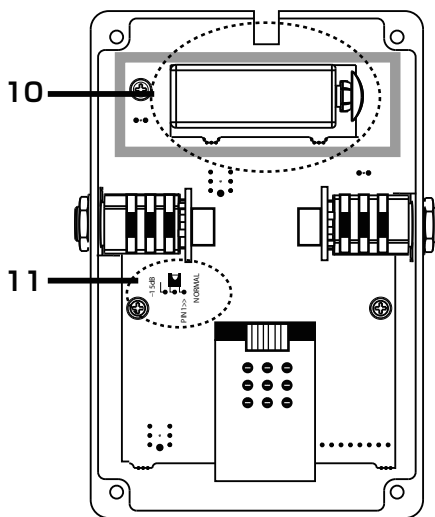
9V 電池の消耗や電池切れをふせぐため、ご使用にならないときは、入力端子からケーブルを引き抜いてください。

ノート：

ボトムパネルを閉じるときは、長方形のウレタンが電池側に来るように天地を合わせ、ネジを右側に回してボトムパネルを固定してください。

11.-15dB PAD ジャンパースイッチ

-15dB PAD ジャンパースイッチを移動させることで、入力信号を-15dB 減衰させ、出力レベルの高



い楽器にも適合させることが可能です。この機能を利用すれば、アクティブ回路や出力レベルの高いピックアップ回路や出力レベルの高いピックアップを搭載したベースにも対応できます。

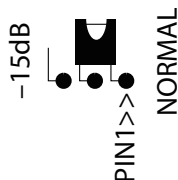
ジャンプスイッチの設定は、次の2種類のみが選べます。

ピン 1 / 2 : 標準 (初期状態)

ピン 2 / 3 : 15dB 減衰

万が一ジャンパーをなくした場合でも、大丈夫です。その場合は、標準 (初期状態) の設定が選ばれます (ただし、0.5dB 程度のロスが生じます)。

左図を参考に、ジャンプスイッチを引き抜き、お手持ちの楽器に合わせたピンの位置に差し込み直してください。

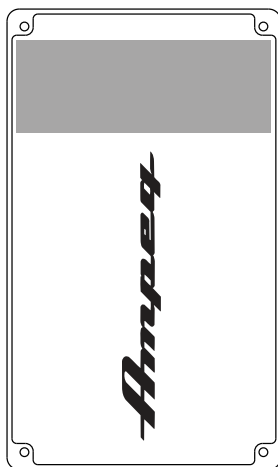


ノート:

ボトムパネルを閉じるときは、長方形のウレタンが電池側に来るように天地を合わせ、ネジを右側に回してボトムパネルを固定してください。

ノート:

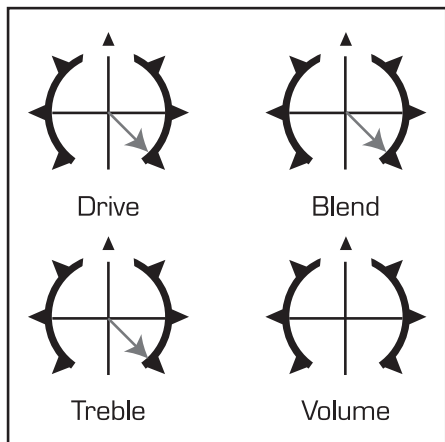
ディストーションが深すぎるときは (通常、信号レベルが約 0.5Vrms に達したときに、ディストーションが生じ始めます)、ジャンパーをピン 2 / 3 に合わせてみるというでしょう。



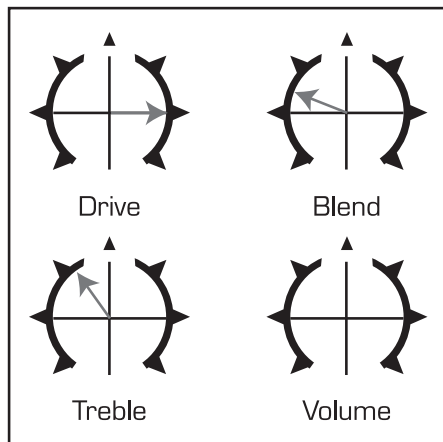
SCRAMBLER 推奨セッティング

※音量は必要に応じて

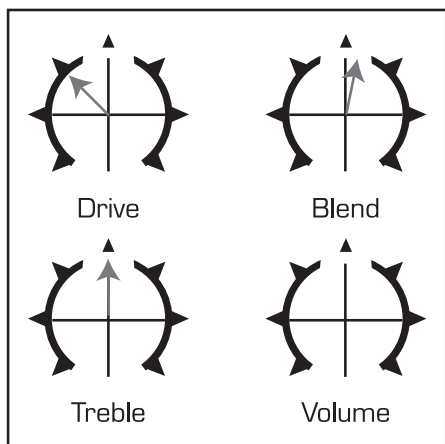
Blow Your Face Off



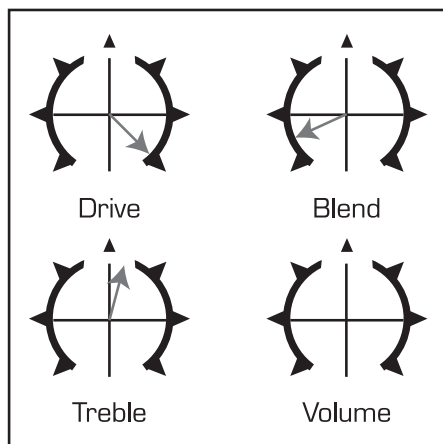
Heavy Pick

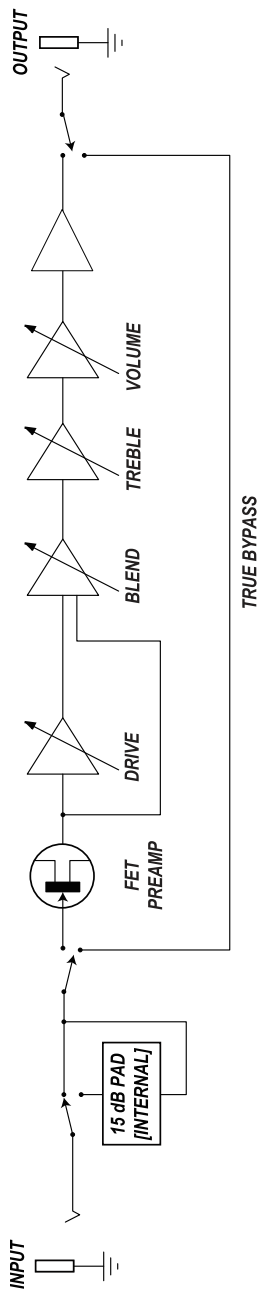


Mild SVT Grind



Mild Overdrive



SCRAMBLER ブロック図

SCRAMBLER 技術仕様

SN 比 (50Hz @ 300mV RMS) :

85dB 以上

最大利得 : + 18dB

トーンコントロール TREBLE : +17 / -14dB @ 4kHz

インピーダンス 入力 : 1M Ω (標準)、83k Ω (-15dB PAD 使用時)

出力 : 120 Ω

電源 内部 : 9V バッテリー

外部 : 9VDC, 20mA 以上

寸法 (H \times W \times D) : 56mm \times 66mm \times 114mm

重量 約 0.3kg

SCRAMBLERは、腐食防止済みの亜鉛ダイキャスト製の筐体を採用しています。このため、清掃時には、必ず糸くずの出ない乾いた布を使ってください。本機にスプレー式のクリーナーを吹き付けることは絶対におやめください。また、表面を傷付ける恐れがあるので、研磨剤入りのクリーナーは使用しないでください。

弊社では、常に新製品の開発および既存製品の改良を行っております。このため、本取扱説明書に記載された仕様および情報は、予告なく変更することがあります。

Ampeg は、米国及び他の国々で登録された、Yamaha Guitar Group, Inc.の登録商標です。

Ampeg[®]

ampeg.jp